

平成 28 年 6 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社 プラコー
代表者名 代表取締役社長 黒澤 秀男
問合せ先 総務・経理部部長 山崎 正彦
電話 0 4 8 - 7 9 8 - 0 2 2 2

ISS 社 (Institutional Shareholder Services Inc.) による
当社取締役候補者全員への賛成推奨および
株主提案取締役候補者全員への反対推奨について

平成 28 年 6 月 29 日に開催予定の、当社第 56 期定時株主総会に上程する議案に関して、世界最大の議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services Inc. (以下、「ISS 社」といいます。) が、6 月 15 日付でリリースされた賛否推奨レポートにおいて、当社が提案する取締役選任議案 (第 1 号議案) の候補者 5 名全員に賛成推奨をしていることを確認いたしました。同時に、株主提案 (第 3 号議案) の候補者 5 名全員に対しては反対推奨をしていることを確認いたしました。ISS 社の推奨レポートに記載された議案分析に対する当社の見解は、下記の通りです。

記

推奨レポートにおいて、まず ISS 社は、会社提案と株主提案の双方を分析するにあたり、「取締役の交代を正当化することが出来るような、説得力のある主張を行ったかどうか」、そして「もし説得力のあるものであるならば、株主提案の候補者は、在任中の取締役よりも変化をもたらす候補者であるか」に焦点を当てて分析を行ったと説明しております。

また、株主提案者が取締役会の支配を試みる際には、合理的であり詳細な事業計画が存在しているかを確認し、経営の継続性が問題になり得る場合には、株主提案における経営陣のクオリティや信用性があるかどうかを確認する、と解説しております。

その上で、ISS 社は、株主提案者について、次のような指摘をしております。

- 株主提案者は、経営支配権の異動が伴うような変化が当社に必要であるということ
を立証出来ておらず、当社が抱えていると主張する具体的な問題について全く説明
をしていない。

- 株主提案者は、株主提案の取締役候補者がコア事業の強化に貢献することが可能で、海外事業の拡大並びに新規事業の開始に貢献出来る、と単純に述べているだけである。
- 株主提案者は、9人の取締役会定員のうち5名を選任することにより取締役会の支配を意図しており、そのためには合理的であり詳細な事業計画が必要となるが、それを提供していない。

一方で、ISS社は、当社の現状について、前年度から今年度にかけての営業利益や純利益の増加、営業利益率の改善などを取り上げ、現経営陣はハイエンド製品に焦点を当てており、調達費の削減や設計・製造過程における効率性の改善を実現することが出来ていると分析しております。

ISS社の結論として、株主提案者は、当社に具体的な問題があることを説明できていない上に、現経営陣より競争力のある具体的な戦略を提示できておらず、当社の業績等を鑑みると株主提案を支持するメリットは見当たらないとの分析を踏まえ、当社が提案する取締役候補者5名全員への賛成を推奨し、株主提案の取締役候補者5名全員への反対を推奨しております。

当社は、ISS社が、会社提案と株主提案の双方を、客観的な情報に基づき具体的な論拠をもって適切に評価分析した上で、会社提案の取締役選任議案に賛成を推奨し、株主提案の取締役選任議案に反対を推奨したことを踏まえ、株主の皆様には当社の現状をご理解賜り、定時株主総会での当社へのご支援を心からお願い申し上げます。

以上